２０２５年度　２学年　各教科の学習計画（１学期）

	単　　元	目　　標	評価の観点	評価の対象
国語	≪詩≫ 見えないだけ ≪小説≫ アイスプラネット ≪古文≫ 枕草子 ≪文法≫ 用言の活用（動詞）	・表現技法に着目して本文の特徴や作者の思いを読み取る。 ・登場人物の設定に着目し、様々な視点から内容を読み取る。 ・登場人物の言動や表現から心情の変化を読み取る。 ・古典文学の流れを知る。 ・作品に描かれる季節やもののみかた、考え方を通して作者の価値観に触れる。 ・単語の種類を再確認し、動詞の特徴や活用を学ぶ。	・詩の形式や表現技法を理解し、詩の読解に役立てることができる。表現技法を使って詩を作ることができる。 ・本文を通して登場人物の設定や考え方を整理し、読みに役立てることができる。 ・本文の表現から人物の心情やその移り変わりを読み取ることができる。 ・平安初期の文学的な歴史や流れを学習として定着することができる。 ・古文の知識を生かして、古文を現代語訳することができる。 ・構成を理解し、作者の価値観をとらえることができる。 ・動詞の特徴を理解し、種類に応じた活用をすることができる。	○授業プリント等の課題提出 ○授業ノート ○教科書ワーク ○漢字テスト ○定期テスト ○授業中の発表内容や 態度 ○暗唱テストや 聞き取りテスト
社会	（地理的分野） 第3編 第1章　地域調査の手法 第2章　日本の地域的特色と 地域区分 第3章　日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方 近畿地方	（地理的分野） ・日本の地形や気候から見た地域的な特色を理解する。 ・日本の産業の特徴を理解する。 ・九州地方の自然や産業を理解する。 ・中国・四国地方の自然や産業を理解する。 ・近畿地方の自然や産業を理解する。	（地理的分野） ・意欲的に学習に取り組み、課題などをきちんと提出できる。 ・資料等を読みとり、日本の自然・気候・産業・生活の様子等について考え、発表する。 ・九州地方、中国四国地方、近畿地方の自然・産業・文化について、基本的な知識が身についている	・提出物 ・定期テスト ・小テスト ・授業態度
数学	1章　式の計算 2章　連立方程式 3章　1次関数	・文字を用いたいろいろな計算ができるようになる。 ・連立二元一次方程式について理解し、解くことができるようになる。 ・具体的な事象から１次関数の関係を見いだし、見いだした関係について説明することができる。 ・表、式、グラフの関係から１次関数の特徴を理解する。	・意欲的に学習に取り組み、提出物をきちんと提出できる。 ・数量の関係や性質について、それを文字式を用いて、考察することができる。 ・連立方程式を解くことができ、その手順を説明することができる。 ・連立方程式を具体的な場面で利用することができる。 ・１次関数の意味がわかり、事象の中に１次関数を用いてとらえられるものがあることを理解している。	・定期テスト ・授業への意欲と態度 ・プリントやワークの提出状況 ・レポート
理科	生物の体のつくりとはたらき １章　生物の体をつくるもの ２章　植物の体のつくりとはた らき ３章　動物の体のつくりとはた らき ４章　動物の行動のしくみ 化学変化と原子・分子 １章　物質の成り立ち ２章　物質の表し方	・生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし理解する。 ・植物の葉や茎を、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解させる。 ・消化の呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解させる。また、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解させる。 ・物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだす。また、物質は原子や分子からできていることを理解する。	・生物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 ・植物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根の つくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 ・動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 ・動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 ・物質の成り立ちについて、関する事柄や現象に関わり、見通しをもって科学的に探究することができる。	・実験レポート ・単元レポート ・ワーク ・定期テスト ・授業プリント
音楽	・「曲想を感じ、パートの役割を理解して合唱表現に活かそう」 ・「曲想に合った器楽表現をしよう」 ・「曲の構成を理解して鑑賞しよう」	・拍に乗って響きのある歌声で合唱しよう。 ・情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 ・アルトリコーダーの基礎知識・基礎的な技能を習得しよう。 ・パートの役割を理解して合唱しよう。 ・曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。	・全体の響きや各声部の声を聴きながら、他者と合わせて歌うことができる。 ・リコーダーの技能を身につけ、表現活動に活かしている。 ・音楽を形作る要素を感じ取り、それを曲想（自分の感想）と結び付けて考えられている。聴き取った音楽から、その曲想（どんな感想をもったか）が音楽とどのように関わっているか考える。 ・日本歌曲のよさや美しさを感じ取れている。	・学習態度 ・振り返りシート ・各ワークシート ・期末テスト ・実技テスト

	単　　元	目　　標	評価の観点	評価の対象
美術	・モダンテクニックの表現 ・形と色の挑戦	・スパッタリングの技法で表現する。 ・抽象形の図法を理解し、画面全体を変化と統一感のある作品を制作する。 ・文様の色々を鑑賞し、形の単純化による表現に興味を持つ。 ・デザインの構成要素を理解し、作品に生かす。	・スパッタリングの特徴を理解し、表現に生かすことができたか。 ・文様の色々に興味を持ち、デザインを工夫し、構成することができたか。 ・ポスターカラーによる描画の基本を理解し、作品に生かすことができたか。 ・意欲を持って授業に参加できたか。	・作品の内容と取り組み方 ・ワークシートの内容と取り組み ・作品レポート ・授業準備物
保健体育	男女 ・からだつくり運動 ・集団行動 ・ラジオ体操	・集合・整列・方向変換・列の増減が指示に応じて素早くできる。 ・正しいラジオ体操・体づくり運動ができる。	・正しい服装・ふさわしい態度で授業に参加することができる。 ・体の使い方や、ノート、プリント整理が工夫してできる。 ・集団行動が正しく素早くできる。 ・正しいラジオ体操ができる。 ・基本的事項を覚えている。	・出席状況 ・授業中の意欲、態度 ・服装、忘れ物 ・ノート整理 ・準備、片付け ・安全配慮 ・実技テスト ・期末テスト
	陸上競技　（ハードル） 水泳（クロール・平泳ぎ）	・自己目標を設定し、自己ベストの更新のために自主的・自発的に取り組む。 ・正しい技能を身につける。 ・意欲的に取り組む。 ・協力しあう。 ・各種目の目標を達成する。	・正しい服装・態度で授業に参加している。 ・準備運動が正しく行える。 ・授業に積極的に参加している。 ・技術を習得している。 ・専門用語を覚えている。	
	バレーボール	・正しい技能を身につける。 ・意欲的に取り組む。 ・チームで協力をし、ゲームができるようになる。	・正しい服装・態度で授業に参加している。 ・準備運動が正しく行える。 ・授業に積極的に参加している。 ・技術を習得している。 ・専門用語を覚えている。	
	保健 健康な生活と病気の予防	・生活習慣病について学び、自分の生活と照らし合わせ、規則正しい生活習慣を身につける。 ・飲酒、喫煙、薬物乱用など、身近な問題ととらえ、その害などについて学ぶ。	・学習内容に興味を持ち、積極的に取り組める。 ・板書内容を記録し、ノート整理がきちんとできる。 ・基本的事項を覚える。	
技術	生物育成の技術	・生物や社会を支えている生物育成の技術を知る。 ・作物の育成環境を調整する技術について理解する。 ・作物の成長を管理する技術について理解する。	・生物育成について理解する。 ・育成環境の技術について理解している。 ・作物の育成を行いながら成長を管理する技術について理解している。	・授業態度 ・定期テスト ・提出物 ・課題 ・授業準備
家庭	・家庭分野のガイダンス ・わたしたちの食生活	中学生に必要な栄養の特徴や健康によい食習慣、栄養素や食品の栄養的な特質、食品の種類と概量、献立作成、食品の選択と調理を理解し、１日に必要な食品の種類と分類を知る。	・中学生に必要な栄養や特徴や健康によい食習慣、栄養素や食品の栄養的な特質、食品の種類と概量、献立作成、食品選択と調理などに関する知識及び技能を身につける。	・授業中の態度 ・ワーク、プリントなどの提出物 ・期末テスト
英語	・１年の復習 ・Unit1　過去形、過去進行形 ・Unit2 ・Unit3	・教科書の本文の読み方、意味を理解する。 ・英語で読まれた情報を正しく聞き取る。 ・学習した本文を強弱をつけて読むことができる。 ・接続詞　動名詞 ・過去形・過去進行形・不定詞・未来系それぞれの用法を理解し、英語で表現することができる。	・教科書本文を正しく読む事が出来る。 ・教科書本文を手掛かりを用いて正しく日本語から英語に出来る。 ・教科書本文を手掛かりを用いて正しく英語から日本語に出来る。 ・学習した文法を理解し、それらを用いて英語で表現することができる。 ・英語を聞き取り、問題に正しく解答することができる。 ・授業の中で積極的に英語を読む練習をし、キーワードとなる文法を使って、伝えたいことを表現することができる。 ・本文の英語を正しく音読し、ペアで活動することができる。 ・発問に対し、的確にこたえることができる。	観点１ ・定期テスト、単元テスト、小テスト、発表など 観点２ ・定期テスト、単元テスト、小テスト、発表など 観点３ ・宿題、ノート、ワーク ・小テスト ・授業中の発言